

2014年6月19日

平成26年3月期決算について

- ・ 営業収入30,595百万円、営業利益2,007百万円、当期純利益1,046百万円
- ・ 就航から3年で単年度黒字を達成
- ・ 沖縄・那覇空港の拠点化は計画通り展開

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一、本社:大阪府泉佐野市)は、本日、平成26年3月期の決算を取りまとめました。

営業収入は30,595百万円(前年同期:14,387百万円)、営業利益は2,007百万円(前年同期:960百万円の損失)、当期純利益は1,046百万円(前年同期:1,209百万円の損失)となりました。これにより、2012年3月に就航して以降、3年で単年度黒字を達成したこととなります。

当期における平均搭乗率は83.7%(有償ベース)、有償旅客数は約300万人でした。

代表取締役CEOの井上 慎一は「当初の目標通り、就航3年目での単年度黒字を実現することができました。利益を生み出すことができる経営基盤を構築できたことは当社にとっての大きな一歩であると同時に、単年度とはいえこれまで誰もが否定的であった日本におけるLCCビジネスモデルが、条件さえ整えば事業として成立することを実証致しました。Peachを応援してくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。また、従来とは異なる新しい顧客層の開拓に成功した結果、年間を通して高い搭乗率を確保できたことに加え、LCCの利用がお客様のライフスタイルの一部として定着しつつあるなど、新しい航空機利用のムーブメントが広がりつつあるのは望外の喜びです」、さらに「今期の夏季スケジュールにおける計画減便では多くのお客様にご迷惑をお掛けいたしましたことを改めましてお詫び申し上げます。予定していた増便は先送りとなり、およそ30億円の減収要因となりますが、沖縄・那覇空港の拠点化を予定通り展開するなど堅実な事業計画の策定と遂行により、平成27年3月期は増収を見込んでいます。今回の減便を貴重な教訓とし、さらにお客様に安心してご利用頂ける航空会社を目指して努力を重ねて参ります」と述べています。

【損益計算書】平成26年3月期の業績(平成25年4月1日~平成26年3月31日、単位:百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度	増減
売上高	30,595	14,387	16,208
営業利益	2,007	△960	2,967
経常利益	1,710	△1,201	2,911
当期純利益	1,046	△1,209	2,255